



国際ロータリー第 2790 地区

東金ロータリークラブ会報

2008年(平成20年)1月22日 第49巻 第26号 通巻第2360号

2007～08 年度 国際ロータリーのテーマ



創 立 1959 年(昭和 34 年) 9 月 15 日
 RI 承認 1959 年(昭和 34 年)10 月 17 日
 例会日 火曜日 12:30～13:30
 例会場 東金商工会館 4 階

RI 会長 ウィルフリッド J. ウィルキンソン
 ガバナー 白 鳥 政 孝
 ガバナー補佐 秋 葉 吉 秋
 会 長 宮 原 信 道
 幹 事 鈴 木 康 道
 クラブ広報委員長 戸 村 秀 次

第 2360 回例会 1 月 22 日 12:30 点鐘 例会場

今週の合唱 = それでこそロータリー

開会宣言と点鐘 お食事 会長挨拶 幹事報告 委員会報告
 卓話 東金警察署長 ニコニコBOX発表 出席報告 閉会宣言と点鐘

**** 前回の記録 (1月15日) ****

会長挨拶 宮原 信道 会長 「新年会長挨拶」

新年、明けましておめでとうございます。

先週は東金ビューロータリークラブの皆様との合同例会がエストーレホテルで開催されましたがホストはビューロータリークラブ様でしたので、気楽に参加させて頂きました。

例年通り今回も両クラブの皆様がほぼ100%出席され懇親会が多いに盛り上がりました。珍しく二次会もお誘い頂き、鈴木幹事、市東副幹事と共に場所を変えてビューの皆さんとワイワイやりましたので、帰宅は23時頃でした。

新年早々からRC運動の基本の一つであります親睦活動がビューロータリークラブの皆様と展開された事は、今まで以上に信頼関係が深められたと、独りよがりだと思っております。

合同例会で、毎年楽しみにしている「くじ引き」では意外な結果で驚きました。私の籤はユーボックスの綿製品で家内に喜ばれましたが、特等の籤は「エストーレホテル宿泊券」との事でした。各テーブルで一番になった人達が決勝戦で「ジャンケン」で一等を決めました。優勝はビューロータリークラブ川勝会員でした。

当たり籤に一番ビックリしたのは、籤を提供された川勝会員(エストーレホテル総支配人)では無いか?と拝察致します。

さて、いよいよ宮原・鈴木年度、下半期のスタートでございます。

ここでもう一度、年度当初に思いを起こし、RI会長や白鳥ガバナーが示されました

ご方針「会員増強・退会防止」等々、新たな気持ちで活動に取り組みたいと存じます。

それぞれ各委員会の活動では、各委員長が上期で種蒔きしたものを、下半期でそれぞれ実りあるもの

のに纏めて、次年度役員各位に気持ちよく引き継ぎたいと思います。

更には当クラブ創立50周年事業の本番が来年に控えております。

50周年創立プロジェクトチーム、神定委員長以下の計画に従い、楽しみながら、全員参加で宜しくご協力をお願い申し上げます。

以上いろいろと申し上げましたが「何よりも人生の基本はそれぞれの健康である」と先人が申されております。今年も、健康管理を十分に行い明るいロータリー活動を展開致したいと考えて居ります。本年も宜しくご指導・ご協力をお願い申し上げます。



幹事報告



東金商工会議所より 10:30 にバスで出発予定

誕生記念 戸村秀次会員、村 誠会員、
菅原 實会員、野口 隆利会員

鈴木 康道 幹事

韓国RCとの国際親睦
の為、小林信雄会員が
現地調査に行く予定です。
2/7(木) 19:00 点鐘
東金ビュ-RC創立記念例会
出欠表に記入願います
2/20(水) 11:30 受付
IMプラザヘイアン茂原



結婚記念

卓話・米山奨学生 **口 ゲン君**

千葉大学で環境健康科学を専攻し、環境影響生化学を研究しています。論文は『ヒト HeLa 細胞と UV-1 細胞の X 線耐性におけるアルドラーゼ A の関与』です。

【目的】放射線は、癌治療に広く利用されております。

しかし、癌種により放射線致死感受性レベルが異なり、

その対応策を解明することが重要な問題となっています。そこで、ヒト細胞における放射線致死耐性の分子機序の解明が試みられ、細胞核内の DNA や染色体への放射線影響が調査されてきています。

但し、放射線作用との関連がないタンパク質の関与が指摘される例もあります。従って、放射線応答への関与が報告されていないタンパク質の中から、がん細胞における放射線耐性化に関わる因子を新たに見出すことを本研究の目的とし、培養ヒト細胞で線照射により量的変動を示す核

内タンパク質のプロテオーム解析を活用することとした。

【方法】蛍光標識二次元電気泳動法により差次的発現解析(2-D DIGE)を用い、HeLa 細胞において線被照射後に量的変動する核画分タンパク質を網羅的に解析した。ついで、線応答性を有することで候補となるタンパク質の発現を RNA 干渉法により抑制させた細胞を作製し、その細胞において、候補タンパク質の線致死感受性への関与を推測した。細胞の致死感受性レベルの測定には、コロニー生存率分析を用いた。

【結果】2-D DIGE 解析から、線被照射 24 時間後に核内発現量が 2 倍以上増加する 6 種類のタンパク質を見出した。その中に、通常は細胞質に存在し糖代謝に関わる酵素として知られていて、放射線との関わりは知られていない**アルドラーゼ A**が含まれていた。RNA 干渉法によりアルドラーゼ A の核内量を減少させたところ、HeLa 細胞の線致死感受性化が見られた。

一方、線致死抵抗化した派生株 UV-1 ヒト細胞とその親株の RSa ヒト細胞間においても、アルドラーゼ A の細胞核内での増量化と線致死抵抗性化の両レベルの間に正の相関が見られた。

【考察】アルドラーゼ A がヒト細胞における放射線の致死作用に対する抵抗化に関わり、新規放射線応答タンパク質であることが示唆された。

従って、解糖系酵素は、糖代謝調節以外にも放射線のようなストレスに対して多面的に機能する可能性がある。



千葉市『花の美術館』にカトリアを展示出品します

・・・**小林 信雄会員**

誕生祝い、有難うございます

・・・**戸村 秀次会員**

写真を有難うございます

・・・**鈴木 康道会員**

出席率

会 員	出席者	出席率
34 名	24 名	70.58%
コイン BOX	2,301 円	

欠席連絡は、前日までに事務局宛に、電話、FAX、Eメールにて、お願い致します。

(緊急の場合は当日 10 時までに)

メーキャップ先への事前連絡もお忘れなく

電話 0475-52-1101 FAX 0475-55-5766

E-mail - togane-rc@r2.dion.ne.jp